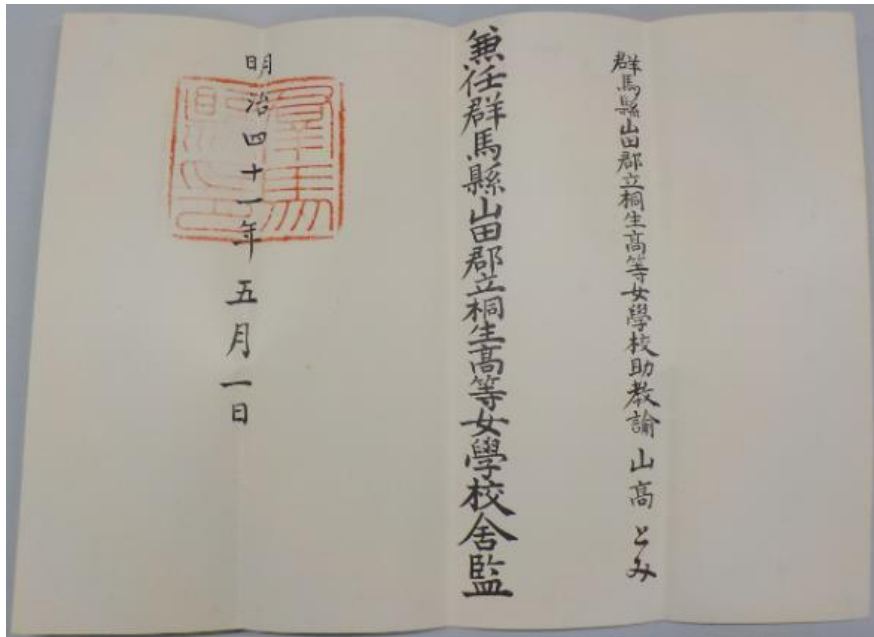


	〔辞令〕	明治41 (1908)年	群馬県 → 山高とみ	1通	山高関係 2-128
9	この年に開校された桐生高等女学校の助教諭兼舎監に任命された幾之丞夫人の辞令です。この学校は2021年4月から新設の桐生高校に統合される桐生女子高校の前身です。				



山高関係文書の最後は2021年4月、新設の桐生高校に統合される伝統校・桐生女子高校、通称「桐女（きりじょ）」に関する文書です。

この辞令からは、幾之丞の逝去後、夫人とみが桐生高等女学校（後の桐生女子高校）の助教諭・舎監として、桐生町（現桐生市）に赴任したことがわかります。桐生高等女学校は、辞令にある明治41年5月に開校した新しい学校でした。

とみは三重県出身で、東京の女子師範学校（現在のお茶の水女子大学）に学び、教員として幾之丞の同僚でした。夫の死去により仕事に復帰した彼女は、その後も群馬県外の学校で働き続けて子どもを育てました。子の1人、山高しげりがフェミニストとして活動した理由の1つは、一人親世帯の苦勞を知っていたことだともいわれています。